

情報モラル研修 5（1 部）

動画共有サイトへの投稿

情報モラル研修会を始めます。
テーマは「動画共有サイトへの投稿」です。
(★)

研修のゴール

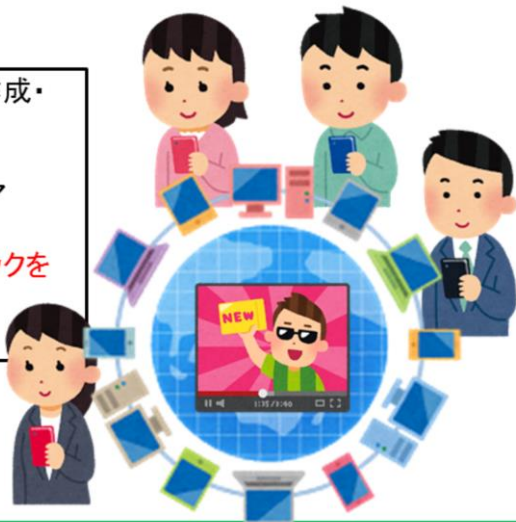
動画共有サイトの概要やリスクを知り、動画共有サイトに関する教育の必要性について理解する。

なぜ、動画共有サイトの教育が叫ばれているのでしょうか。
また、動画共有サイトとはどのようなものでどのようなリスクがあるのでしょうか。
この研修では、『動画共有サイトの概要やリスクを知り、動画共有サイトに関する教育の必要性について理解する。』を研修のゴールとしています。
(★)

1. 動画共有サイトとは

個人が撮影した動画や所有するビデオをインターネット上にアップロードして公開し、他の人が閲覧できるように共有するサイト

- 誰でもどこからでも**簡単**に視聴・作成・アップロードが可能
- 大きな**影響力**を持つ新しいメディア
- 文字だけでは伝わりにくい**テクニック**を**伝えることに有効**
(演奏・ダンス・料理・工作など)



やまぐち総合教育支援センター

情報モラル

動画共有サイトとは、個人が撮影した動画や所有しているビデオなどをインターネット上にアップロードして公開し、他の人が閲覧できるように共有するサイトのことです。

動画の視聴や作成・アップロードが誰でも簡単にでき、何か広めたいメッセージや話題がある場合には有効なツールです。

一般的にはYoutube(ユーチューブ)・ニコニコ動画・VINE(ヴァイン)・ツイキャスなどがあります。

(★)視聴だけなら誰でも自由にできるサイトもあり、動画の作成やアップロードもスマホさえあれば簡単にできます。

動画共有サイトがきっかけで、ユーチューバーとしてデビューする人がいるなど、大きな影響力を持つ新しいメディアとして急成長しています。

文字だけでは伝わりにくいテクニックを伝えるには有効で、これらのサイトから新しい文化が生み出されています。

しかし、良い面ばかりではないのが情報社会の特性です。動画を誰でもどこからでも自由に作成・アップロード・視聴できるということの危険性を考えなければいけません。

(★)

2. 動画共有サイトに潜むリスクと教育の必要性

パソコンやケータイ・スマートフォンさえあれば、簡単に動画を作成・アップロードできるということは、**情報の取り扱いに無責任**になることにつながりやすい。



- TV番組やDVDなどの著作権法に違反した動画をアップロード
- 日本の法律では禁止されているアダルト動画が視聴可能
- 注目を集めたいがために投稿内容がエスカレート
- 一度視聴すると関連動画なども見続けてしまう など

やまぐち総合教育支援センター

情報モラル

パソコンやケータイ・スマートフォンさえあれば、簡単に動画を作成・アップロードできるということは、それだけ無責任に情報を取り扱う恐れがあるということです。上手に利用すれば便利ですが、ネットトラブルから身を守るためには、子どもたちにどのような教育をしていく必要があるのでしょうか。

それは、動画共有サイトがもつ影の側面について見ていく必要があります。例えば、動画共有サイトには、

(★)TV番組やDVDなどの著作権法に違反した動画がアップロードされていることも珍しくありません。

日本の法律では禁止されているアダルト動画なども、サーバーが海外にあれば日本からでも見ることができ、現実として、インターネットに接続できる携帯型ゲーム機でこっそりアダルト動画を見ている小学生もいます。

動画共有サイトには、視聴人数を表示したり、その動画にコメントを記入したりする機能があり、注目を集めるために投稿内容がエスカレートしていく子どもたちもいます。実際に、万引きの様子や中学生が小学生を蹴り倒す場面、中学生が自分の着替えを生中継、中学生が自分が飛び降り自殺をする場面を生中継するといったことが起きています。

この他にも、一度視聴するとその動画に関連した動画が自動的に表示され、次々に似たような動画を見続けてしまい、時間を浪費してしまうというリスクも潜んでいます。

(★)

3. 動画共有サイトに関する教育のポイント

見せる側

- 自分で作成した動画以外には**著作権**が存在する
- アップロードした動画から**個人**が**特定**できる など

見る側

- 動画の**選定**や視聴の**態度**をしっかりと考える必要がある
- 動画の視聴が**長時間化**する など



やまぐち総合教育支援センター

情報モラル

では、動画共有サイトに関する教育のポイントはどのようなことでしょうか？

動画共有サイトは使い方によってはとても便利なものですが、使い方を間違えると被害者にも加害者にもなり得るものであるということを伝えることが大切です。

具体的には、見せる側の立場でのポイントとしては、

(★) 自分で撮影・作成したオリジナルの動画以外にはほぼ著作権が存在します。また、いくら目や顔を映していなかったとしても、アップロードした動画から個人を特定することはできます。トラブルの原因になるということをしっかりと考えて、投稿して良いかどうか立ち止まって判断する態度を身に付けさせるべきです。

さらに、見る側の立場でのポイントとしては、

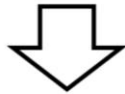
(★) 見る動画の選定はセキュリティ面も含めてよく考える必要があるとともに、視聴する動画がどのような影響を及ぼすかなどについて、しっかりと考えられるスキルを身に付けさせる必要があります。

そして、視聴が長時間化してしまう傾向にあることも考えさせたいポイントです。

(★)

4. まとめ

■ リスクへの理解



■ 活用するスキル



デジタル社会を生き抜いていくためには、様々な**リスク**があることを考えるとともに、上手に活用していくためのスキルを身に付ける必要がある。

このように、通信技術の進歩などにより、子どもたちが扱う情報が画像から動画へと大容量化しています。これは、今まで以上に慎重に情報を扱わなければならないことでもあります。

(★)動画共有サイトに関して、投稿や視聴などその利用方法は色々ありますが、インターネット上で情報を取り扱う場合には様々なリスクが隣り合わせにあることを十分理解させていく必要があります。それとともに、これからのデジタル社会において可能性の広がりという利点もありますので、子どもたちにはそれを上手に活用していくためのスキルを身に付けさせなければなりません。

(★)

2部では、事例を基に、動画共有サイト
を利用する上で、児童生徒に身に付け
させたいスキルについて考えるワーク
ショップをしましょう。

2部では、事例を基に、動画共有サイトを利用する上で、児童生徒に身に付けさせたいスキルについて考えるワークショップをしましょう。

(★)